

日本在住外国人児童の「意見を述べる」力の発達 —公立小学校4年生が書いた「タスク作文」の分析から—

齋藤ひろみ・菅原雅枝(東京学芸大学)

1 目的 日本生育外国人児童(4年生)の意見文を対象に、「考えを書いて表す力」の発達状況を捉え、その課題を明確化し、教育方法を検討する。

2 先行研究 (1) 齋藤他(2016): 文章の構成力に関しては、組織的に文章を構想し、文を結束性をもたせて接続する力は、FはJに比べ遅れて発達する。一方、出来事、状況、心情の叙述力には、語彙・表現のバラエティとその運用の適切さの問題が影響しており、中学年でようやく同等になる。しかし、主題の捉え方の発達の違いが高学年の差として、再び表れる。(2) 国立国語研究所(1964): 4年生が作文の量的発達から質的発達への転換期に当たり、高学年では文の複雑さや文章構成等の形式面以上に批判・思想性に発達が見られた。

齋藤ひろみ・菅原雅枝・李佳耀・三好大(2016)「外国人児童の作文の内容に関する縦断研究—日本人児童との比較を通して」『第37回異文化間教育学会大会抄録』

3 データ(作文資料)と分析方法

データ: 外国人児童(F)20名・日本人児童(J)24名、計44名のタスク作文

タスク「あなたは無人島に行きます。『ライター』と『ナイフ』、どちらか一つを持って行くことができます。あなたなら、どちらを持っていきますか。なぜですか。理由を三つ書いてください。」

分析方法

- ①タスク達成度: 選択結果の表明の有無、三つの理由の有無
 - ②文章構成 以下の点から分析する。
 - ・形式面: タイトルの有無、形式段落の有無
 - ・内容構成: 三部構成(冒頭部・展開部・終結部)の有無、主張の位置(頭括・尾括・双括)、段落相互の関係(三つの理由の前後にまとめがあるか)
 - ③理由の述べ方: 次のa~gのどのような機能を用いて選択した理由を述べているか。
 - a背景、bメタ的言及、c反論、d譲歩、e詳述、f例示、g補足
 1作文に見られる機能の種類数(バリエーション)と各機能が見られる作文の割合をFJ別に数量化して比較する。
 - ④「理由の明確さ」と「説得性」
 - 5段階のルーブリックを作成し、3名(日本語教師歴10年以上)により評価を行う(各5点、計10点)。
- ★参照: 文部科学省の小学校学習指導要領国語科(2008)、伊集院他(2015)、坪根他(2015)

4 結果

- ①タスク達成度: 選択結果の表明⇒FJとも100%
三つの理由⇒Fは15%が達成できず
- ②文章構成:
 - ・タイトルの有無⇒J100%、F90%
 - ・形式段落・三部構成⇒FJで違いなし
 - ・主張の位置⇒両群とも頭括60%・双括40%
★要約やまとめがある作文は、F20%、J30%
- ③理由の述べ方: 図1, 2, 3

FはJに比べてバリエーション(機能の種類数)でも、メタ言及や反論などを用いた批判的・多角的な論じ方においても遅れている可能性がある

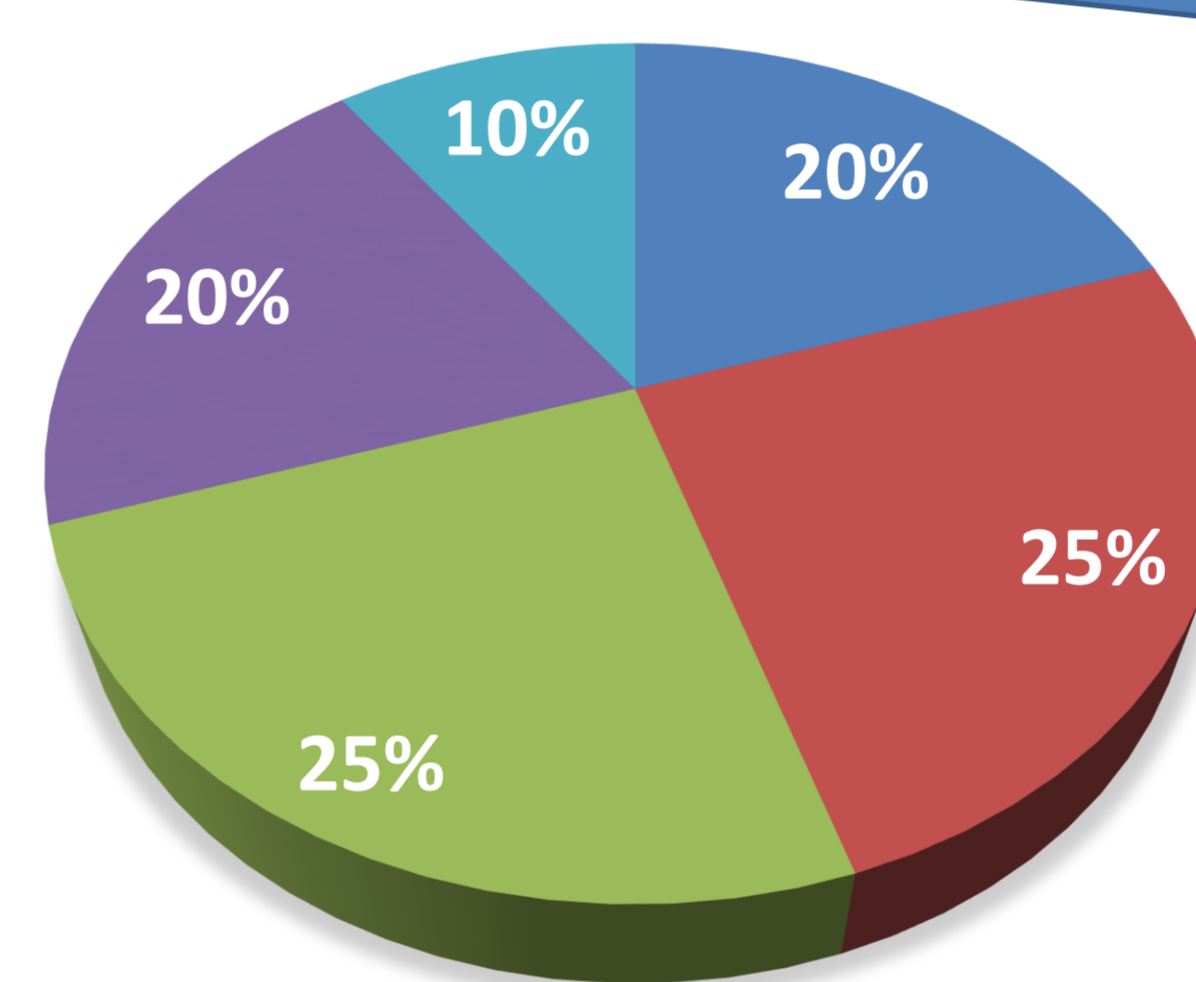


図1 F 機能の数(種類数)

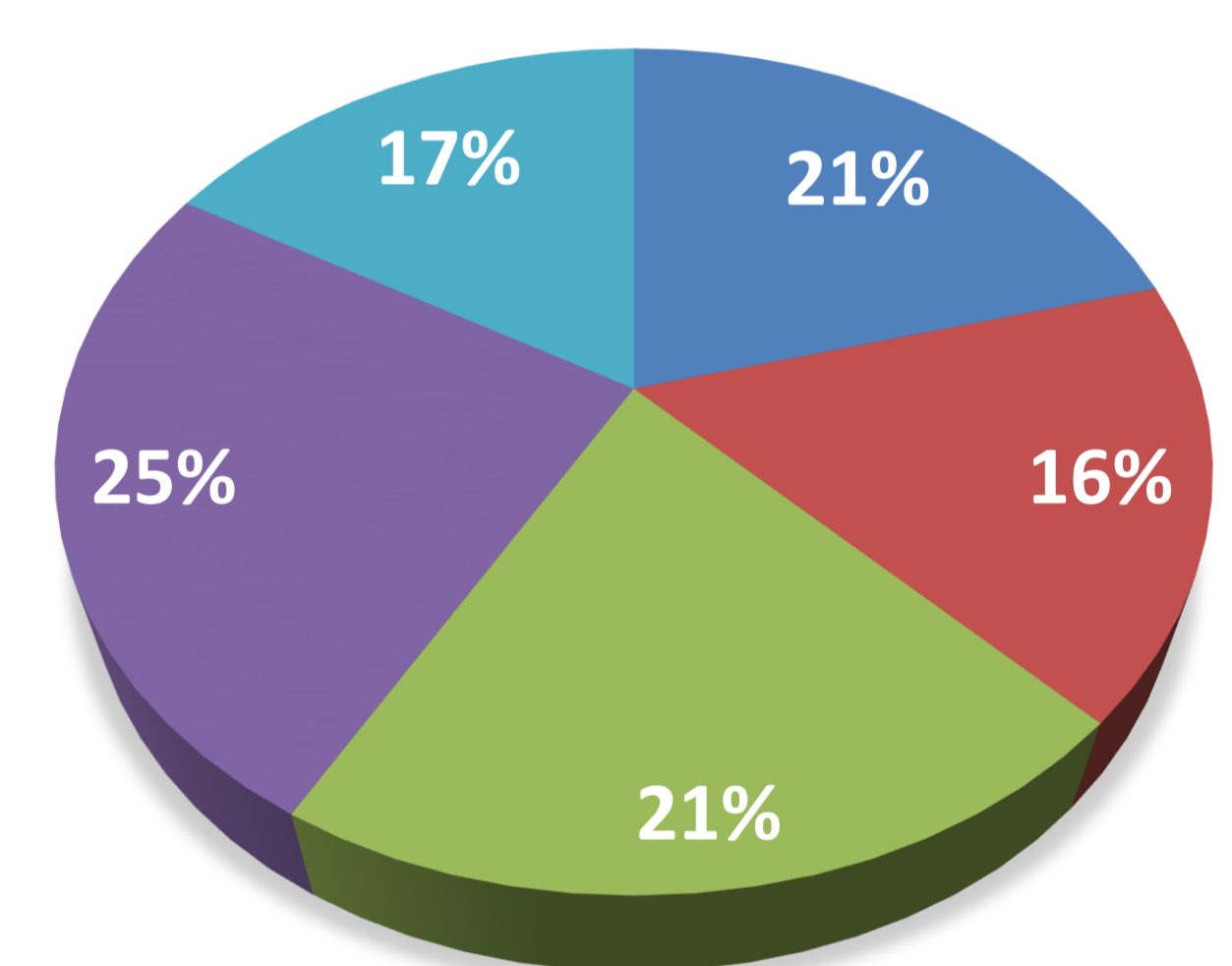
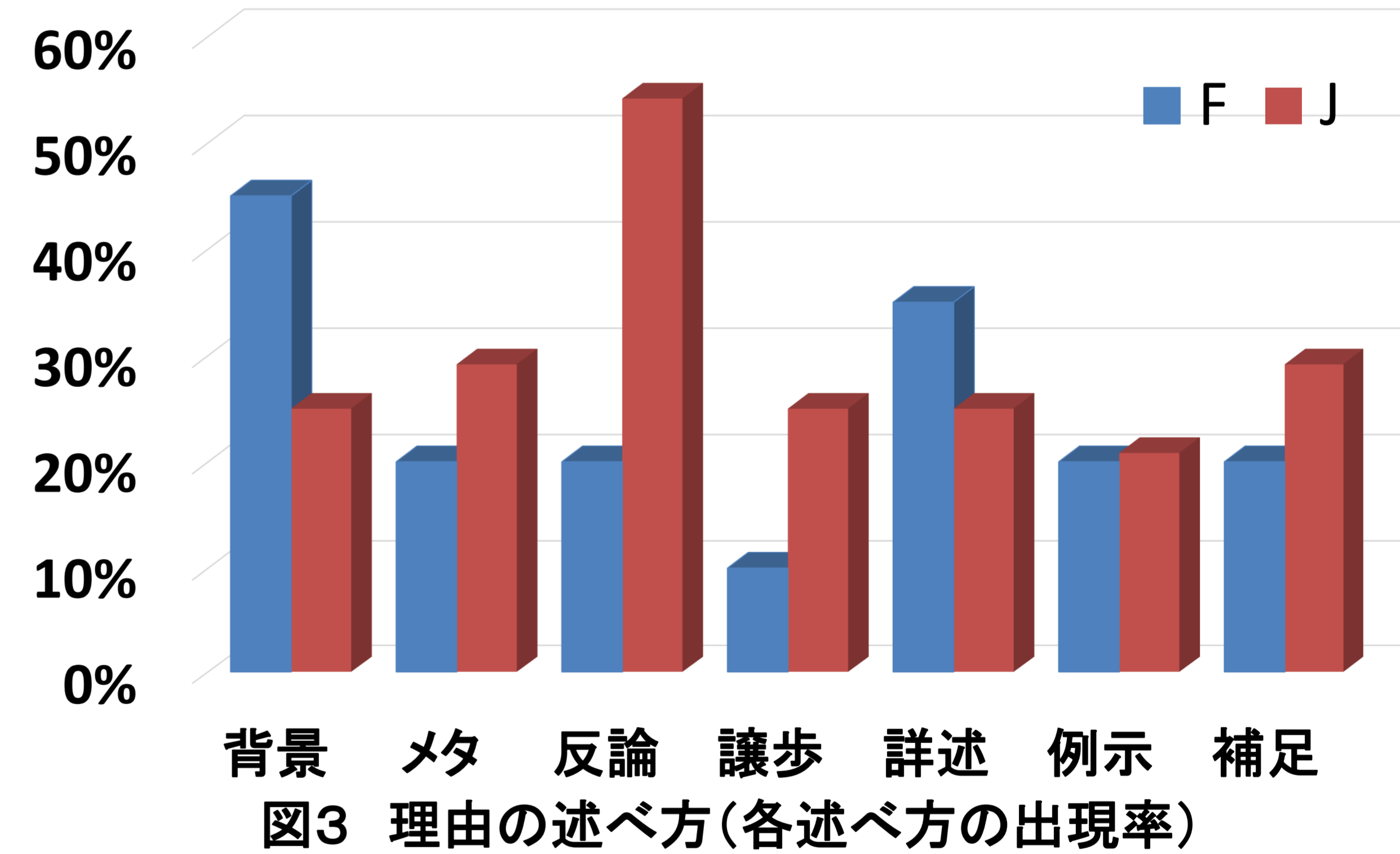


図2 J 機能の数(種類数)



形式面、述べ方の多様性に課題はないが、「明確さ・説得性」の評価が低いFの作文例

④「理由の明確さ」と「説得性」: 図4, 5

- ・理由を明確に叙述する力 ⇒ JとFに大きな違い
- ・Jの一部に「根拠を具体的に示し論理的に主張を述べる力」をもつ児童も

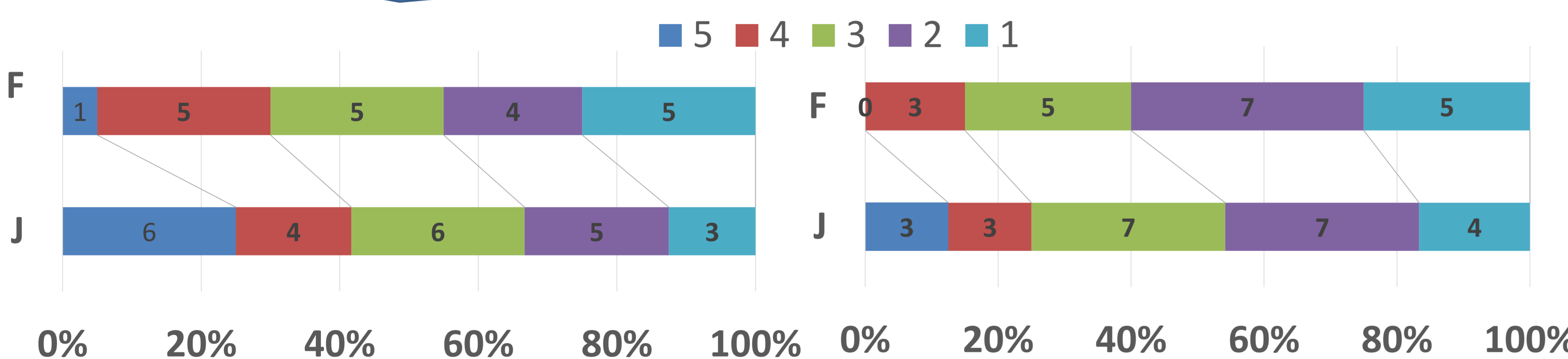


図4 明確さ(得点の割合)

図5 説得性(得点の割合)

5 考察とまとめ(Jの発達との比較から)

- (1) 4年生になるとFJとも一定程度構成の整った文章で自分の考えを述べる力を持つ。
- (2) Fには形式的には整い、述べ方が多様でも「明確さ」「説得性」評価の低い作文が見られる。
⇒論述の仕方に課題あり
- (3) 日本生育外国人児童への「意見文を書く」指導:
 - ①主題の捉え方、主張と根拠の関係づけを多角的、批判的に行うこと(思想性)、②内容をどう関連付けて述べるかを検討すること(論理性)、③日本語の表現や文章構成(形式)を決定すること、の3点を活動の中に相互補完的に配置することが重要。

「無人島に行ったら何を持っていく。」(表記: 原文通り)
ぼくがむじんとうにいくなら、ライターをもっていきます。理由は3つあります。(中略)それから二つめ、ナイフは、たべものやかさをきったりしてでも火がないといみがありません。でもライターは、火をつけられるしよるになったら、火でひかりをつくったりして、きけんとき火をつけて、何かなでかくにんすることができます。でもライターがないときけんのときもあるとおもいます。それで三つめは、ナイフのほうもいけれと火がつけられないからえらんでいませんでもライターは、火をつけられるし、ひかりもつくれるからです。しかも火だけつけられるじゃなくて、よる海にいつて火をつけて魚をとったり貝をひろったりすることができます。(中略)この三つの理由でどうしてナイフをもたないでライターをえらんだだけは、わかります。